

垂水キッズソフトテニススポーツ少年団が県大会で大活躍！

7月10日、鹿児島市で開催された、第43回鹿児島県小学生夏季ソフトテニス大会で、垂水キッズソフトテニススポーツ少年団の団員が、団体戦・女子の部で優勝という成績を収めました。緊迫した空気の中行われた試合で、見事チームを優勝に導いた、女子団体戦キャプテンの深見杏夏さんは「チーム皆で勝ち取った優勝、とても嬉しかったです。監督やコーチにも感謝したいです」と話しました。同少年団の合言葉である『ありがとうを“喜び”に！』を胸に、これからも皆で楽しく、テニスを頑張ってください！今後、ますますのご活躍を期待します。

【第43回鹿児島県小学生夏季ソフトテニス大会】（敬称略）

◎団体戦・女子の部 優勝 深見 杏夏（垂水小・6年） 鎌田 帆南（垂水小・5年） 川越 心咲（垂水小・5年）
肝付 瑛菜（垂水小・4年） 深見 紗雪（垂水小・4年） 中濱 妃那（垂水小・4年）

【小学1年生から団員大募集！体験練習随時受付中】ご興味のある方は右記まで！団員・体験練習の受付：保護者代表 深見さん ☎ 080-1730-5604



▲見事優勝をつかみ取ったチームの皆で記念撮影



▲試合について作戦会議中

垂水中央中学校ソフトテニス部が九州大会で大活躍！ 男子団体・女子個人が全国大会に出場決定

8月4日から8月5日までの2日間、福岡県で行われた第53回九州中学校ソフトテニス競技大会で垂水中央中学校ソフトテニス部が優秀な成績を収め、第53回全国中学校ソフトテニス大会（8月19日から8月21日までの3日間／北海道）への出場権を獲得しました。男子ソフトテニス部主将の肝付翔星さんは「今までの積み重ねを出し切り、全国大会の切符をつかめました。全国大会でも力を合わせて、一つ上のレベルにいけるよう頑張りたいです」と話しました。女子ソフトテニス部主将の鎌田優菜さんは「九州代表として悔いの無いよう、3年生に立ち向かい頑張って結果を残したいです」と話しました。皆さんのご活躍を期待します。

【第53回九州中学校ソフトテニス競技大会】（敬称略）

◎ダブルス個人戦・女子の部 第3位 鎌田 優菜（2年） 森山 夢彩（2年）
◎男子団体戦の部 準優勝 肝付 翔星（3年） 深見 皐雅（2年） 美坂 瑛人（2年） 前田 瑛煌（3年）
児玉 優人（2年） 俣江 啓次（2年） 中馬 怜央（2年） 大山 悠斗（3年）



▲全国大会に出場する垂水中央中学校ソフトテニス部の皆さん



▲熱い戦いが繰り広げられた男子団体戦

垂水小学校金管バンドが九州吹奏楽コンクールに出場決定！

7月24日から7月31日までの8日間、第67回鹿児島県吹奏楽コンクールが鹿児島市で開催され、垂水小学校金管バンドが小学生の部で金賞に輝き、第67回九州吹奏楽コンクール（8月19日／熊本市）へ推薦され出場することとなりました。小学生の部には県内から35校が出場する中、上野久美教諭の指揮のもと「蒼天の鳥たち／八木澤教司作曲」を、36人のメンバーで美しく堂々と演奏しました。垂水小学校金管バンドは、第64回、66回大会でも金賞を受賞するなど、これまでも優秀な成績を収めています（65回大会はコロナ禍で中止）。また、昨年も九州吹奏楽コンクールへの出場権を獲得していましたが、コロナ禍により音源出場となり、現地での演奏が叶いませんでした。部長の新村玲奈さん（同小6年）は、「今回は会場で演奏できることになり、とても嬉しいで



▲垂水小学校金管バンドの皆さん

す。練習の成果を発揮できるように、全員で音と心をひとつにしてがんばります」と決意を述べてくれました。九州大会でも、美しい音色で多くの方を魅了することでしょう！ご健闘をお祈りいたします。なお、この記事は、8月18日に作成したことから、九州大会の結果は改めてお知らせします。

垂水中学校吹奏楽部が鹿児島県吹奏楽コンクールで金賞受賞！

7月24日から7月31日までの8日間、第67回鹿児島県吹奏楽コンクールが鹿児島市で開催され、垂水中央中学校吹奏楽部が中学校の部で金賞に輝きました。中学校A部門には県内から59校が出場する中、上之園明子教諭の指揮のもと、「マーチ ブルースプリング／鈴木雅史作曲」と「吹奏楽のための祝曲序曲『トリニティ』／福島弘和作曲」を、36人のメンバーで息の合った美しい演奏を行いました。同中学校が金賞を受賞したのは平成25年以来、9年ぶりの快挙です。結果を聞いた部員たちは、涙ながらに喜びを分かち合いました。部長の中村咲希さん（同中3年）は、「コロナウイルス感染者が急増する中、出場できるか心配でしたが、中学校最後のコンクールに36人全員で出場できて良かったです。そして、金賞受賞という最高の思い出が出来たことは、本当に嬉しく思



▲垂水中央中学校吹奏楽部の皆さん

います」と話しました。現在の3年生は、小学6年生の終わり頃からコロナ禍の生活が始まり、思うように吹奏楽の活動ができませんでした。その分、金賞受賞は中学校生活の中でも、ひととき輝く思い出となったことでしょう。受賞おめでとうございます。今後も皆さんのご活躍を期待します。